



2023年8月4日
日本地震再保険株式会社

高速道路サービスエリアでの地震対策促進の取組み (啓発ポスターの掲出・リーフレットの配布)

日本地震再保険株式会社（取締役社長 伊東正仁）は、高速道路のサービスエリア（SA）の利用者に向け、「防災・減災の取組み」や「地震保険への加入」などの地震対策を促す取組みを行います。

南海トラフの巨大地震（マグニチュード8～9クラス）は、いつ起きてもおかしくない状況であり、激しい揺れや巨大津波などにより、広範囲に甚大な被害が及ぶことが想定されています。

当社は、南海トラフ地震の被害が想定される地域の居住者に、「地震対策の重要性」を広く啓発する目的から、今回、NEXCO 西日本の紀ノ川 SA（和歌山県）において、「ハザードマップによる避難経路の確認」、「家具の転倒防止」、「備蓄品・非常持出袋の準備」および「住宅の耐震化と地震保険への加入」を訴えるポスターを掲出するとともに、裏面に自宅備蓄品のチェックリストを掲載したリーフレットの配布を開始します。



(場所) NEXCO 西日本 紀ノ川 SA (下り)
(期間) 2023年8月1日から同31日まで

今後も、当社はこのような情報発信を通じて、引き続き「地震対策の促進」や、SDGs 目標に掲げられた「災害による貧困の解消」および「住み続けられる街づくり」に貢献してまいります。

<お問合せ先>

日本地震再保険株式会社

管理・企画部 小布施 正紀 (電話) 03-3664-6078 (Eメール) jer-contact@nihonjishin.co.jp

当社では、地震保険の付帯率向上や防災・減災を推進する活動を通じて、国連サミットで採択された SDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向けた取組みを進めています。

